



ヤノボンテンカ 花言葉：繊細美

四万十川ニュース

Vol.88

中村河川国道事務所 平成25年9月27日

四万十川・入田元池シンポジウム

入田地区の環境保全や活性化について語り合う「四万十川・入田元池シンポジウム」が8月25日(日)に開催されました。今回で11回目となるシンポジウムには、約60名と多くの参加者が入田集会所に集まりました。会では、幡多の川をフィールドに魚類生態等を研究している山下慎吾氏から、四万十川のテナガエビについての講演がありました。続いて、中村河川国道事務所から、災害時の「命の道」(緊急ルート)としても重視されている高規格道路の整備計画等が紹介されました。「思い切り発言」では、過去の当シンポジウムをきっかけに実現した入田地区の基盤整備の進捗状況について報告がありました。



防災パネル展 (フジグラン四万十店)

中村河川国道事務所では、防災週間(8月30日から9月5日)にあわせ防災パネル展として、住民の皆さんへの防災意識の高揚や、地域の防災力向上のきっかけの一つとなるよう災害写真等の展示を行いました。展示物としては昭和南海地震当時の四万十市被災状況、四万十川の過去の水害及び近年の代表的な洪水状況の写真などを集めたパネルを展示しました。また、東日本大震災における地震発生から復旧までの経過をまとめたパネルも展示し、様々な情報を提供しました。パネル展はフジグラン四万十様にご協力いただき、小さいお子さんからご年配の方まで幅広くご覧頂ける機会となったと思います。これからも、防災情報の発信などを通じて、地域の皆様の防災意識向上に取り組んでいきたいと思ひます。

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)台風被災地へ派遣

四国地方整備局では、台風18号による豪雨で被災した地方の復旧を支援するため、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を派遣しました。第1陣、第2陣合わせて総勢28名が派遣されましたが、第2陣の河川班、道路班、砂防班、計24名の隊員のうち、中村河川国道事務所からも3名の隊員が選ばれ、9月17日~20日の4日間京都府舞鶴市で支援活動を行いました。舞鶴市では土砂崩れや道路冠水など多くの災害が発生し、避難勧告が発令される状況でした。派遣されたTEC-FORCE隊員は、被災箇所の状況調査や復旧工法の助言等を行い、最終的に取りまとめた調査報告書を舞鶴市長に提出しました。当事務所から派遣された職員からは「災害復旧支援という大変貴重な経験が積めた」と感想がありました。また活動期間中は現地の市民の方々や市役所の職員から支援活動に対する御礼のお言葉を頂きました。今後このような災害が起きないことを願いますが、日本は台風や地震等による自然災害が頻発する国です。今後も国土交通省としては被災を受けた自治体へのTEC-FORCEの派遣等を通じて災害復旧支援に尽力していきます。



四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは
中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

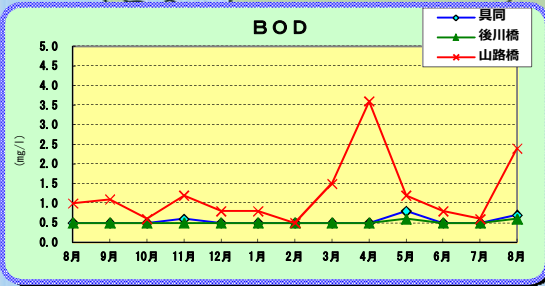
8月の四万十川の様子

四万十川の水質

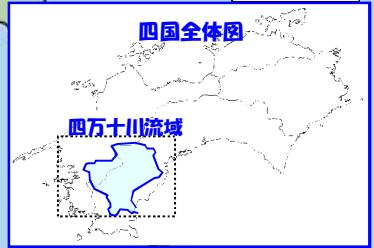
具同観測所
(8月13日測定)

水温 30.2℃
 pH 7.3
 BOD 0.7mg/l
 SS 2mg/l
 DO 7.0mg/l
 大腸菌群数 6600MPN/100ml
 流量(日平均) 18m³/s

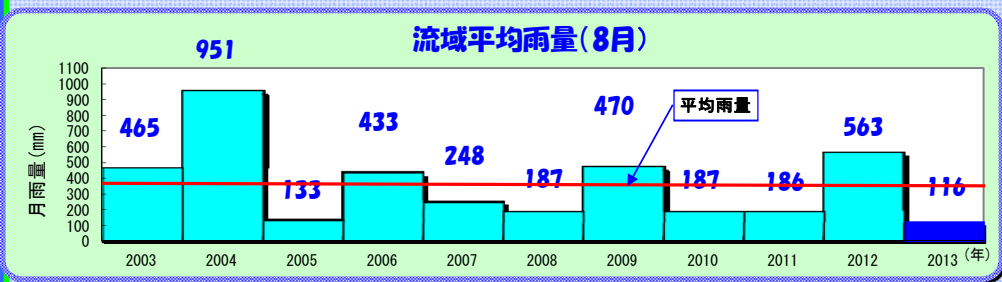
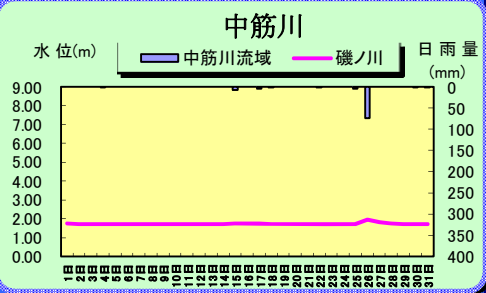
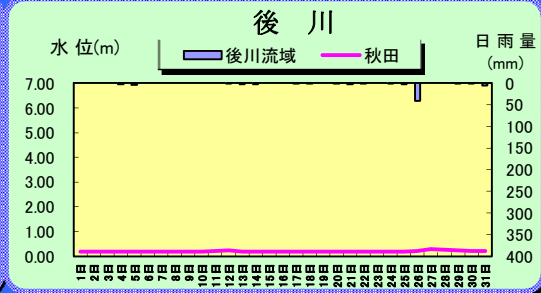
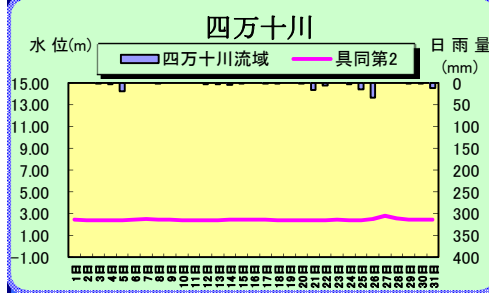
※測定値は全て速報値です



四万十川	1.0mg/l以下
後川	2.0mg/l以下
中筋川	3.0mg/l以下



雨量・水位データ



8月の四万十川流域平均雨量116mmは平年の3割程度の雨量です
 なお、過去10年間の平均雨量は382mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について
 四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に
 占める支配面積の比率により算出した雨量です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:4回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

川の防災情報
提供
国土交通省河川局